

オンライン筆記試験と会場筆記試験の違いに関する注意

(1) オンライン実施の筆記試験への参加が認められた者には、事前の接続リハーサルを設定する場合があるので、各専攻の入試案内書を参照すること。設定された接続リハーサルに参加しない場合には受験資格を失う。一般教育科目（数学）においては、接続リハーサルは行わない予定なので、「令和 6(2024)年度東京大学大学院情報理工学系研究科 一般教育科目（数学）オンライン試験受験要領」等の注意をよく読み、個別に準備・練習をしておくこと。準備や練習不足によって、所定の時間内に答案を提出できない等のトラブルがあっても救済措置は講じない。

(2) 公平性確保及び不正防止の観点から、オンラインでの筆記試験には以下の制限があるので注意すること。

- 1) 解答時間中はトイレ・体調不良であっても一時退室はできないので注意すること。退室時の対応は試験科目ごとに定める。一般教育科目の解答時間中に退室する場合、その時点までの答案を提出の上の退室となり、以後、その時間帯の筆記試験の終了まで再入室はできない。各専攻の専門科目における対応については、各専攻の書類を確認のこと。
- 2) 各試験には解答開始時刻前の入室限度時刻が定められ、その限度時刻後の遅刻入室は一切許可されないので注意すること。
- 3) すべてのオンライン筆記試験の様子は録画され、オンライン筆記での試験解答状況及び解答内容について、専攻の口述試験時に改めてのチェックを行う場合がある。また録画等により不正が発見された場合は、合格発表後であっても入学資格を取り消すことがある。